

I 全般的留意点

1. 原稿の冒頭に、以下を記載する
① タイトル、②英文タイトル、③著者名（漢字、ひらがな、アルファベット）、④所属、
⑤要旨、⑥キーワード
サブタイトルをつける場合は、日本語では直前にダッシュ、英語ではコロンをつける。
2. 分量は、論稿は本文約1万6000字まで、図表や参考文献などを含めて最大2万字まで、現地報告は4000字前後まで。
3. 節は1, 2...、項は(1), (2)...、さらに下位区分を用いる場合は①, ②...とする。文中で列挙する場合は、(1), (2)...もしくは①, ②...を用いる。
4. 国名、地名、人名、組織名などは、原則として日本語（カタカナまたは邦訳）表記。一般に知られていない固有名詞（地名、人名、組織名など）は、初出時に原語をカッコ内に付記する（ただし、一度しか言及しないなど重要性が低いものは原語表記の省略可）。人名の原語表記は、肩書の後ろにつける。以後の記述で、日本語表記に略語を併記してもよい。
例 カストロ国家評議会議長（Fidel Castro）は…、カストロの主張によれば…
民主行動党（Acción Democrática: AD）が…、民主行動党は…、民主行動党（AD）は…
5. 貨幣など各種単位は、カタカナ表記（メートル、トン、ドル）、ただしパーセントは「%」（半角）を用いる。図表内の単位は原則として記号（m、g、tなど）を用いるが、「ドル」などはカタカナ表記、記号のいずれでもよい。
6. 数字は半角表記する。ただし万以上の数字には万、億などを用いる。千のコンマ切りはしない。概数の場合は、十数人、数十年などとする。継続年次の場合は「～」（全角）を用いる。
23億500万円 1万2000人 第2次5カ年計画 表1 0～5歳 1970～75年
7. カッコ（ ）、[] は本文への挿入部分は全角丸カッコで囲う。外国語表記部分は半角丸カッコとする。
8. 注は脚注とする。

9. 著（編）者名と刊行年の表記は本文中で行い、注には回さない。
（本文中） …とスミスは説明している（Smith 1990）。

II 本文および注での文献表記

1. 地の文で文献に言及するときは、「著者姓（1998）」の形式で示す。文中にかっこ書きで示すときは、「（著者姓 1998）」の形式で示す。本文中への挿入を示す（ ）は全角丸カッコで囲む。ページ数を示す場合は、刊行年のあとにコロン、連続するページ数を示す場合は半角ハイフン、文献内の複数箇所を示す場合はカンマで区切って列挙する。同一著書の複数の文献や、複数の文献を列挙する場合は、間をセミコロンで区切る。コロン、カンマ、セミコロンのあとはすべて半角スペースを入れる。

今西（1974）は…、
今西は…という（今西 1974: 25, 30-35）。
…である（Smith 1989: 14, 18-20; 2002: 20）。

今西（1974: 25, 30-35）は…、
スミスは、…という（Smith 1989）。
…である（Smith 1989: 14; Soto 2002: 20）。

2. 本文や注では、編者でも、姓の後に「編」、「監修」、「ed.」、「comp.」等を付けない。
3. 複数著（編）者の場合は、3人までは全員の名前を出す。4人以上の場合は最初の1人のみを明示し、2人目以降は「ほか」、「et al.」と略記する。「&」は使わない。
今西・鹿野（1978）は…、 Smith, Wessen, and Gunless（1988）などの研究が…
Zipursky et al.（1959）によれば…、…という（Zipursky et al. 1959）。

4. 同一著者の複数の文献を示す場合は、半角セミコロンと半角スペースを打ってから列挙する。ページ数を示すときは、半角コロン半角スペースに続いて記す。
今西（1978; 1980）は…、 …などの研究がある（Smith 1989; 1992; 1994）。
ガルシアによれば、…である（Garcia 1941: 45-49; 1944: 105）によれば、

5. 一つのかっこ内で著（編）者の異なる複数の文献を示す場合は、半角セミコロンと半角スペースを打ってから列挙する。
…とされる（Smith 1988; McAndrew 1989: 202-211）。

6. 著（編）者名が付いていない刊行物の場合は、発行機関名を表記する。機関名が長い場合には、略号、略称を用いてもよい。ただし文献リストでは正式名称が分かるようにしておくこと。

例 （本文） CEPAL（1994）では…、
（文献リスト） CEPAL（Comisión Económica para América Latina y el Caribe）1994. *El regionalismo abierto en América Latina y el Caribe*. Santiago de Chile: CEPAL.

7. 2 度目以後の引用の場合、前掲書（論文）、同上書（論文）、op. cit.、Ibid.という言葉を使わない。
8. 新聞の電子版やニュースサイトの無署名記事など、参考文献に入れるのが難しい場合は注をつける。記事や情報のタイトル、新聞名や発行機関名、発行年月日を記載するとともに、URL を記事タイトルに埋め込む。URL のみを表記することはしない。
- ¹“Los votantes de Maduro comienzan a cobrar el dinero que les prometió.” *ABC*, 22 de mayo, 2018.
- ²“Venezuela Receives First Batch of Vaccines through COVAX Mechanism.” *Reuters*, September 8, 2021.
9. インタビューは注にインタビューの日と対象者を記す。
- ⁹ 2019 年 8 月 6 日、ブラジリア大学 A へのインタビュー。

Ⅲ 文献リスト

論稿中で参照した文献のみを文献リストに掲載する。

1. 文献リストは日本語文献と外国語文献に分ける。

外国語文献では、当該文献に関する執筆者・編者・訳者すべてのうち一人めのみ姓名を倒置し、それ以外は倒置しない。編著者名は省略せず全員を記し、最後の著者の前に , and をおく。スペイン語、ポルトガル語の文献では y、 e、と表記する。 and (y, e) の前のカンマを忘れない。

同一著者の文献が複数ある場合は、単著、編著に関係なく、出版年を昇順に並べる。同一著者の文献が同一年に複数ある場合は、文献タイトルの 50 音順、アルファベット順に並べ、刊行年に a, b・・・と付記して区別する。

同じ著（編）者の文献が続くときは 2 度目以下は——（3 倍ダーシ）で表記する。なお、著書の後に編著が続く場合は、——編、——ed.（編者が複数の場合は eds.）とする。ただし、別の著者や編者が新たに付け加わる場合には、最初の著（編）者名ももう一度出すこと。

Fontanelle, Eric C. 1944. *Preparing for the Postwar Period*. Columbus, Ohio: W. C. Cartwright and Daughters. ——1952. *What Really Happened When the War Ended*. Cleveland: Chagrin Valley Press.

Fontanelle, Eric C., and Valeria Mandible 1951. “Iron Despair: Postwar Bewilderment.” *World Spectator* 6 (April).

2. 単行書

日本語文献は「著者姓名 出版年.『書名』出版社.」と記載する。シリーズ名は省略する。邦訳書は「著者姓名 出版年.『書名』翻訳者名 出版社.」とする。原著情報を記す場合には、出版社に続いて丸かっこ内に記載する。原著情報の記載方法は、外国語文献の記載方法にしたがう。

池田明史 1994. 『イスラエル国家の諸問題』アジア経済研究所.

ハイランド, G・ウィリアム 2005. 『冷戦後のアメリカ外交—クリントン外交はなぜ破綻したのか』堀本武功・塚田洋訳 明石書店 (G. William Hyland, *Clinton's World*, New York: Praeger, 1999).

英語文献は「著者名 出版年. 書名. 出版地: 出版社.」と記載し、書名はすべての単語を大文字で始め、イタリック表記する。邦訳情報を記す場合には、出版社に続けて丸カッコ内に記載する。

Samuelson, P. A. 1964. *Economics: An Introductory Analysis*. 6th ed. New York: McGraw-Hill (都留重人訳『経済学—入門的分析』岩波書店 1966 年)。

スペイン語、ポルトガル語文献の書名は、1 つめの単語のみ大文字で始め、それ以降は小文字で始める (固有名詞は大文字)。

Toro Hardy, José 1992. *Venezuela 55 años de política económica*. Caracas: Editorial Panapo.

3. 単行書所収論文

日本語文献は「著者姓名 出版年. 「論文名」編著者名『書名』出版社.」と記載する。英語文献は「著者名 出版年. “論文名.” In 編者名 ed., (編者が複数の場合は eds.) 書名. 出版地: 出版社.」と記載し、書名はイタリックとする。スペイン語、ポルトガル語の文献は、論文名および単行書名は、1 つめの単語のみ大文字で、それ以降は小文字で始める (固有名詞は大文字)。所収論文タイトルの後はピリオドをつける。また、In (En), ed. にあたる単語もそれぞれの言語で表記する。所収ページは記載してもしなくてもよい。

菊池啓一 2016. 「分配政治とブラジルの市民社会—連邦政府から市民社会組織への財政移転の決定要因」宇佐見耕一・菊池啓一・馬場香織編『ラテンアメリカの市民社会組織—継続と変容』アジア経済研究所。

López Sánchez, Roberto 2009. “Autonomía sindical y soberanía popular.” En Margarita López Maya ed., *Ideas para debatir el socialismo del siglo XXI*. Caracas: Editorial Alfa.: 20-35.

4. 雑誌論文・記事

日本語文献は「著者姓名 出版年. 「論文名」『雑誌名』巻(号) (発行月) 掲載ページ.」と記載する。外国語文献は、「著者名 出版年. “論文名.” 雑誌名, 巻(号): 掲載ページ.」と記載し、雑誌名はイタリックとする。スペイン語、ポルトガル語、フランス語の論文名の表記は、1 つめの単語のみ大文字で始め、あとは小文字で始める。一方、雑誌名は、英語同様すべての単語を大文字で始める。刊行月なども原語表記とする。

巻号は「巻数(号数)」と表記する。発行月日・季節を記載する場合は、巻号のうしろに「、発行月日・季節」もしくは「(発行月・季節)」の形式で挿入する。掲載ページは半角ハイフンを用い、「開始ページ-終了ページ」と表記する。

福島真人 1988. 「内面とカージャワ神秘主義と伝統的政治モデル」『民族学研究』52(4) (3 月) 330-350.

Guerrero, Alexandra 2014. “Against Elections: The Lottocratic Alternatives.” *Philosophy and Public Affairs*, 42(2): 135- 178.

5. 新聞記事

筆者名がある記事は、論文と同様に、本文中に (筆者名 年) を記載し、参考文献リストに入れる。筆者名がない場合は上記 II の 8 を参照。

日本語文献の署名記事は 執筆者姓名 出版年. 「記事名」『新聞名』刊行月日. URL
西村博之 2021. 「脱炭素「国境調整」で欧米中駆け引き」『日本経済新聞』2月12日.
<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODK056SZ0V00C21A2000000/>

外国語文献の署名記事は 執筆者姓名 出版年. “記事名.” 新聞名, 刊行月日. URL
Finnonian, Albert 1990. “The Iron Curtain Rises.” *Wilberton Journal*, 7 February.
Saldierna, Georgina 2018. “Morena elige candidatos a diputados federales.” *La Jornada*, 18 de febrero.
<https://www.jornada.com.mx/2018/02/18/politica/010n3pol#>

6. URL と閲覧日

文献の URL がある場合には表記する。ウェブサイトが更新される場合などは閲覧日を記載する。
坂口安紀 2019. 「ふたりの大統領の間で揺れるベネズエラ—これは「終わりの始まり」なのか？」
『ラテンアメリカ・レポート』36(1): 44-58. https://doi.org/10.24765/latinamericareport.36.1_44
Consejo Nacional Electoral. <http://www.cne.gob.ve> (2016年4月10日閲覧).

IV 図 表

1. 図表にはそれぞれ通し番号を付し（図1、表1）、タイトルをつける。
2. 必ず単位、出所を明記する。
3. 図表の下に、(注)、(出所)の順に記載する。ウェブサイトの URL は埋め込む。
(出所) Piscopo (2016) および [列国議会同盟のホームページ](#) をもとに筆者作成 (2021年10月27日閲覧)。
4. 空欄や記号などを用いた場合には、その意味を必ず注記する。
5. 原稿とともに、エクセル等のデータ・ファイルも提出する。

以 上